



▲福祉課に設置された地域包括支援センター

保健・福祉を一体で 組織の再編

答弁：福祉課で配置を検討

堤 地域ケア会議設置要綱は生かされるのか。福祉課長 地域に密着したネットワークづくりの手段として活用。堤 医療機関との連携はどのような関わりなの



堤 久美子 議員

福祉課長 24時間体制、訪問医療、歯の治療等医療機関・事業者と連携しサポートしていく。健康課長 歯の予防対策はしているが、治療はやっていない。堤 前期高齢者一人当りの医療費56万8千円でワーストワン。取り組は。健康課長 閉じこもり予防、介護予防の一環でウォーキング教室に取組中。

堤 篠栗町の取り組を。健康課長 先進市町の事例を研究。堤 健康・福祉課一体化町長 庁舎の中で配置の仕方を検討。男女共同参画センターを答弁：チームを設け検討中。堤 生涯学習2号館(働く婦人家)を男女共同参画センターに。副町長 庁舎の活用検討チームを設け検討中。



吉田 大作 議員

望山荘

潰すのか残すのか

答弁：廃止も含めて検討

吉田 昭和52年に設立の望山荘は設立から35年が経過したが当初の目的は果たされたと思うか。先日の議会報告会で、「望山荘が閉鎖される、無くなるのでは」と言う意見があり、不安に思わ

れている町民の方もいる。この点についてはどう思うか。町長 超高齢化時代を迎えるに当たり、望山荘は必要だし役割を果たしていると思う。しかし、大規模な改修や補修が必要な場合は廃止も検討して行く。吉田 入館者が激減している現状をどう捉えるのか。また、改善策は。福祉課長 広報に今年の1月号から掲載しPRに

努めている。吉田 シーメイト倶楽部というものが有る。望山荘にもシーメイト倶楽部のようなものを作るなど、検討し、福祉課、望山荘、シーメイトの連携や交流を深める事が利用者増加に繋がると思う。福祉課 望山荘、シーメイトが一つの係になるのでそのように進んでいく。



▲望山荘



▲須恵川の扇橋付近



古庄 信一郎 議員

消防署支署

西部地区への新設は

答弁：計画では26年度新設

古庄 私、消防署支署新設活動を推進してきたが、第4次消防力整備計画で「26年度、管内西部地区エリアに新設」となった。また幹線に面した500坪程度となり、場所、財政他、町長は南

部消防組合でリーダーシップをとって努力すべきだ。町長 消防空白地帯は、志免・粕屋町域にあり、色んな提言をしながら早期実現するよう消防議会にもお願いをしていく。

須恵川の災害対策は

答弁：各町と協調し努力を高める事に努力する。

古庄 21年災害で別府地区も大きな被害を受けたが、須恵川の扇橋、粕屋

中学位近の左岸が崩壊したのも一因だ。共有する自治体同士、情報交換の場や協議会他を立ち上げるべき。また共有の防災マップの作製や監視カメラの設置を推進すべき。町長 各町と協調しながら町長会等のテーマとして取り上げ、お互いの情報交換、勉強会等、意識を高める事に努力する。

し尿の処理

処理量減で負担は増

答弁：どこも抱える課題



丸山 真智子 議員

丸山 志免町のし尿処理総額費用はいくらか。生活環境課長 浄化センター1経費7882万円、土地賃借料3005万円。丸山 基金積立もあり1億2000万円程かか

る。処理量が減っているがキロ当たりのコストも増えている。町長の考えは。町長 自分たちのし尿は自分たちで処理しなければならぬ。費用はかかっても、しなければならぬ事業だ。平成の森の虫の保全答弁：対策を考えたい丸山 平成の森公園の虫

は住民の方が観賞に行かれているが、めっきり少なくなってきた。町の責任で再生策をとって欲しい。町長 もっと虫が舞うようにできればと思う。丸山 一度、専門家に調査してもらい住民と協働で保全に取り組むべき。町長 支援を賜りたい。【その他の質問】住民と協働で男女共同参画の推進



▲平成の森公園